リーディングDXスクール事業 【実践事例】

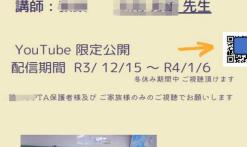
【取組内容⑤】保護者・地域の人にクラウド体験をしてもらう

令和3年度に保護者・地域の皆様へGIGAスクール構想の理解をすすめるために、PTA対象のセミナーや学校評議委員会で地域に住む皆様にも児童の使っている端末を使ってクラウド体験をしてもらいました。講師は管理職と担任を持っている先生たちです。











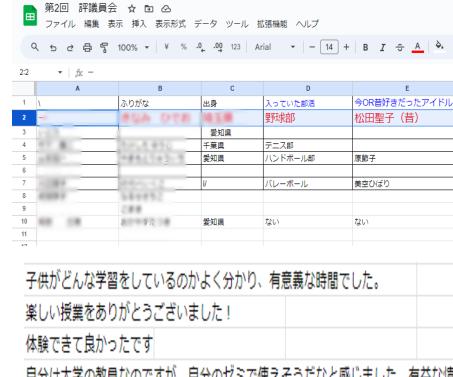
11/29(月)開催

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

【取組内容⑤】保護者・地域の人にクラウド体験をしてもらう

最初にアイスブレイクでスプレッド シートを活用して、自己紹介してもら いました。他者参照しながら、普段は あまり発言しない保護者・評議員の皆 様もどんどん書き込むことができまし た。最後にはクラウド上でグループに 分かれて「Society 4.0(情報社会)と Society 5.0(未来社会)比べてみよう」 を課題として設定し、インターネット から情報収集し動画なども参考しなが ら整理分析しました。最後に全員で個 人の書き込んだ内容を見ながら振り返 りをしました。後日この時の様子は YouTubeで限定公開しました。

今後も、学習端末を安全に便利なものとして活用していくためにも、保護者や地域への発信を続けていきたいと思います。



自分は大学の教員なのですが、自分のゼミで使えそうだなと感じました。有益な情自分の育った時代とは全く違った状況、子供たちはこの状況に対応しているのがす色々な方の発表を聞いたり、自分で考えたり、自分で文字を売ったりすることが楽Chromebookについて知ることができて良かったです。

一人一台のパソコンはもっと閉ざされたものだと思っていましたが、みんなで共有

【取組内容①】「『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体的な充実!

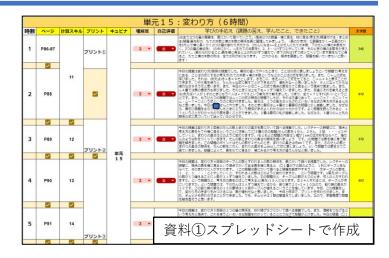
算数科での活動

右の資料①は、算数科における単元進度計画表である。児童は、この計 画表を基にして学習内容を選択・決定したり、自己の学びを調整したりで きるようにしている。また、資料②は、学習過程を示している。Classroom に毎時間の学習内容や目標、学び方が掲載されており、これらを参考に学 習を進めている。

もう少し具体的に1時間の内容を紹介する。最初の10分は、学習の保障 の観点から1時間ごとの学習内容をレクチャーという形で教える。残りの 時間は資料を②に示した学習の進め方に沿って、必ず取り組む課題と選択 して取り組む課題に順に取り組んでいく。また、児童が個人・先生・友 達・デジタル教材などから選択して、個々に合った学習環境を選択できる ようにしている。さらに、プリントもPDFでClassroomに掲載しており、取 り組みたい児童は自分で印刷して、自己の課題に合った学習ができるよう にしている。

そして、残りの5分間で学習のまとめとして、学びの手応えを記入する。 このような流れで、児童一人一人に合った学習が進められるようにしてい る。

最後に、この実践の成果として次の3点が挙げられる。1つ目は、児童 のアウトプットする機会が大幅に増加したことです。「自分でできる、進 められる」ことが可能になり児童は主体的に学習に取り組むようになった。 2つ目は、教師が個別指導できる時間が確保できたことである。教師は、 常に児童を観察し、個々にアプローチした声けかけが可能になった。3つ 目は、児童がつながり合い、個々の課題を解決しながら理解を深められる ことである。各自で解決すべき問題が異なる中で、複数の学び方を選択で きる環境があり、Google Chat を活用したり、友達や教師に直接聞いたりす ることで、自分なりに解決することができるようになった。このような成 果があったと考えている。



1月26日(金)5時間目

【単元】分数(8時間)

- B・・帯分数を仮分数に直したり、整数と真分数に分けたりする計算の仕方が理解できる
- A·・Bを生かして、帯分数の入った計算の問題を解決ができる
- S・・Aに加えて、具体的な問題を使って、計算の仕方を振り返ることができる
- (1) 【課題の設定】帯分数のはいった計算は、どのように計算できるだろうか。
- (2) 【情報収集】レクチャーP79の1・2
- ≪視点≫1をいくつに分けた何個分か(○分の1のいくつ分)
- ≪考え方≫仮分数に直す 整数と真分数に分ける
- ★自分のめあてをチャットに送信
- (3)~自由進度学習~【整理・分析】≪学び方≫先生?個人?友達?班?スマレク?
 - ① [必ず取り組む] P79の3・4 (丸付け)
 - どちらの考え方で解いたかがわかるようにする。

② [選択] もっと練習?プリント(紙/データ)? 教科書?動画?

- ≪動画①≫たし算https://youtu.be/qjdwOa3370U
- ≪動画②≫ひき算https://youtu.be/ISX3DbKIfvc?s
- (4) 【まとめ・表現】
- ①計画表に入力
- ②課題について、学びの手応えを書く (新しく学んだこと)
- ★こんな書き方ができると★
- 1 今日の授業で学習したこと (今日は、○○について学習しました。)
- 2考えたこと(~~という視点で見ると(・

3そして・・・ということを学びました

■■を解くときのポイントは、 ○○だと思し 資料(2)Classroomに掲載

資料(3)

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

【取組内容①】「『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体的な充実」

社会科での活動

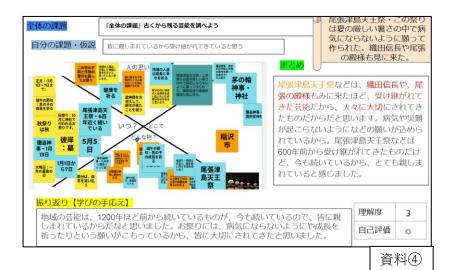


資料2

は成長と幸 尾張津島天王祭・この 祭りは夏の厳しい暑さ の中で病気にならない 茅の輪 神事· 健康を た。織田信長や尾張の 職様も見に来た。 神社 歳神様をお 里の子の 王祭・6百 月に神社で 行われるお 年近く続い 秋祭り は秋 稲沢 彼岸 5月5 尾張津 :墓 事・1月 島天王 13日 1月1日か 57日 年の最後の

4年生の社会科「残したいもの、伝えたいもの」の学習での活用場面である。学習の流れとして、資料①は、Google Chatを利用して、資料の読み取りから、課題に対する仮説を立てるところまで行った。Chatを活用することで他者参照でき、参考にしながら自分の考えをもつことができた。次に資料②③は、情報収集と整理の様子である。教科書やインターネットを活用して班ごとの単位で協働的に情報を集めGoogleジャムボードに整理した。共有ドライブにある思考ツールを背景にすることで分類しながら整理できていた。児童は、必要な情報が何であるのかやどのように整理するかなど話し合って学びを進めるとともに、完成後には、情報取集したことを資料にして、課題について意見交流をした。最後に資料④のように、Googleスライドにまとめと振り返りを記入し、1時間の学習を終えた。

この実践は4年生のものであるが、学校として探究のサイクルを回し、クラウドを活用した授業に実践に取り組んでいる。そして、主体的に学びを進めることのできる児童の育成を目指している。



リーディングDXスクール事業 【実践事例】

【取組内容③】「端末の日常的な持ち帰りによる家庭学習の充実等」

チャットの活用

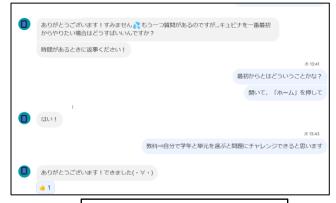




資料②児童とのやりとり



資料③児童とのやりとり



資料4)欠席児童とのやりとり

資料①のようにGoogle Chat を活用することで、 家庭学習での取り組みを相互把握できるようにしている。家庭で取り組んだ成果をChatに送信するように指導することで、児童の学習への取り組みを把握することができる。

また、資料②③は授業後に教師に評価を求めた 児童とのやりとりである。Chatを使うことで、こ のような時間外における学びの継続もすることが できる。

最後に資料④は必要に応じた欠席児童とのやりとりである。Chatを活用することで、欠席児童の疑問や質問に教師が答えることも可能になる。このことにより、回復後にスムーズな学校生活への復帰につながると考えている。

他にも、Classroomを用いて連絡帳の代わりとしたり、児童個々が自主学習ノートでの調べ学習などに使用している。

資料① Chat で取り組み報告